

まちづくりびとニュース(第3号)

平成19年7月

<目次>

- 活動見学会レポート……………P1
- まちづくり活動助成……………P3
- まちづくりびと養成講座……………P4
 - ・皆さんの近況
 - ・修了生有志のつどい

活動見学会レポート

今年で二回目を迎える活動見学会。

今年も多くの方が参加され、名古屋のまち歩きを楽しみ、まちで活躍する人たちから学びました。

延藤先生の幻燈講演会からはじまり、旧小学校の COMBi 本陣がある下町情緒あふれる中村区大門界限、名古屋の旧街道である美濃路など。名古屋のさまざまなまちの表情を知る機会になりました。

●第一回 5月26日(土)「まちづくり幻燈講演会」

まるで映画のように色あざやかなまちの映像が紹介された幻燈講演会。絵本を織り交ぜながらの延藤さんの楽しいお話が、会場を何度となく盛り上げました。

やがて映像の舞台は、イタリアから名古屋のまちの縁側へうつり…見終わった後、まるで小さな旅を楽しんだような、まちづくりの向こうにひとの暮らしの楽しさがみえる講演会となりました。



●第二回 6月2日(土)「現地見学会～中村区大門界隈を歩く」

旧本陣小学校の校舎を活用した COMBi 本陣は地下鉄「本陣」駅から徒歩すぐ。地域密着型ビジネスを応援する施設です。



なつかしい気持ちになる小学校の建物のなかで、さまざまな NPO や起業家が活動しています。そのひとつである NPO 法人 起業支援ネット 事業推進局長 久野さんからお話を伺ったあと、新大門商店街 相談役の星野さんたちの案内で、大正時代の賑わいを感じることができる大門界隈のまち歩きへとうつります。



長寿庵



青空にはえる名駅の高層ビル群を遠くに見ながら、ときおり現れる歴史的な建物や情緒あふれる商店街の町並み。名古屋の新しい顔と、賑わいを彩る歴史が融合する、中村区大門界隈の魅力を知る機会となりました。

●第三回 6月9日(土)「現地見学会～美濃路(西枇杷島～清洲城)を歩く」

名鉄「ニツ杵」駅から徒歩しばらく歩くと、西枇杷島の市場町としての発展を支えた旧街道、美濃路にでます。江戸の雰囲気がこの建物を見ながらしばらく進むと、山田九左衛門家の問屋を移築した問屋記念館が現れます。

手前に店がまえ、奥に中庭をはさんだ居間やはなれが広がる間取り。昔の青果問屋の商いと暮らしの様子を感じながら、枇杷島みのじ会 代表者 後藤さんと、美濃路まちづくり推進協議会 事務局長 臼井さんからお話をいただきました。そのあと西枇杷島から清洲城までの散策を予定していましたが、残念ながら大雨警報のため散策は中止となりました。

〔現地見学会～美濃路（西枇杷島～清洲城）のようす〕



問屋記念館



まちづくり活動助成

五月に募集が行われた「まちづくり活動助成部門」（また「はじめの一步助成部門」）の選考結果が発表されました。今回はじめての試みとして公開審査を行いました。

6月16日(土)11階の大研修室にて、まちづくり活動助成部門に応募された団体の方々の熱いプレゼンテーションが行われました。

まちづくり活動助成部門は15団体が応募、はじめの一步助成部門は12団体から応募があり、それぞれ7団体が選ばれました。

●選考結果《採用された団体》

<まちづくり活動助成部門>

- ・ 庄内用水を環境用水にする会
- ・ 社会福祉法人 AJU 自立の家
- ・ 名古屋芸術の杜をみんなでつくる会
- ・ おやじの休日の会
- ・ 特定非営利活動法人 子ども&まちネット
- ・ 有松まち普請の会
- ・ 雨池ホテルの会

以上、7団体

<はじめの一步助成部門>

- ・ 山崎川グリーンマップ
- ・ 特定非営利活動法人 槿木倶楽部
- ・ 鯨城・堀川と生活を考える会
- ・ 北鳩花の会
- ・ 笠東ボランティアネットワーク
- ・ 名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク
- ・ 打出ふれあい文庫

以上、7団体

まちづくりびと養成講座

皆さんの近況

佐藤 輝彦さん (2期生)

体にメスを入れ、リハビリと体力回復を兼ねて名古屋の街歩きを始め、10数年が過ぎました。見る事と知る事に喜び、学ぶ事に胸を震わせ、伝える事の喜びを知りました。

初期の癌にも打ち勝ち、今は名古屋の人の魅力をもっと知ってもらうために企画を立案、下調べ、交渉などを行い、「川ナビ歩こう会」を中心に「西区の魅力を発信する会」「堀川川下り」「西区100周年企画」などで、10月～6月までの準備活動を頑張っています。

あと、4月から中区の歴史と文化を伝えると云う事で月一回、ケーブルTVで企画、案内、出演しています！皆さん、西区のことなら何でもご相談ください。



山田 佐智子さん(1期生)

花を介したまちづくり～お花で脱 UNKO ROAD～に携わること早5年。外での活動は緑の風に吹かれて気持ちよいものです。土の改良や除草を支援し、種から育てた花苗を無料で配達すると担当の住民が植え替えや水遣りをしてくれます。

自然に行き交う人のコミュニケーションが進み、登校中の子どもの安全見守りや防犯にも役立ち、まさに一石何鳥にも。ぜひ環境先進都市、名古屋らしい風景としてこの活動が広まればよいなと思っています。

最近延藤安弘先生を招き、「子どもが輝くまちづくり」と題した絵本まちづくり幻灯会を開催しました。

ふるさとの原風景が、自分の庭と同じようにまちを手入れする人の姿が当たり前だったと、子どもの心の奥に焼きついて欲しいものです。



修了生有志のつどい

まちづくりびと講座修了生の有志のつどいを、6月22日（金）に名古屋市緑区の有松地区にて行いました。今回は「有松あないびとの会」のみなさんのお世話で、東海道散策と交流会を開きました。

当日は生憎の雨模様でしたが、夕闇迫る雨の東海道をそぞろ歩きました。駅前開発で有松の玄関が変わったこと、歩道橋のガラスは有松絞りをデザインしてあることなどを聞きながら散策、めずらしい三層の土蔵がある服部邸を見学しました。丁度、川が絞りの藍色に染まっていて美しい光景でした。

次に東海道を西に。街道沿いには江戸から昭和初期の建築物が保存され、地形の変化（意外にアップダウンがあります。）と街道のまがり方が絶妙な景観変化をかもし出していました。そして第2部会場「寿限無茶屋」へ。しばし料理をつまみつつ、参加者の近況報告を織り交ぜながら歓談の時間を過ごしました。無事大役を終えてほっとしている幹事、講座1期生小川でした。

（今回の幹事・まちづくりびと養成講座1期生 小川明さんのメーリングリストより抜粋）



～次回の幹事は2期生の佐藤政彦さんです。～

編集後記

今回から「まちづくりびとニュース」の編集・発行作業を担当させていただくことになりました。名古屋市民のみなさんのアクティブな活動を知るごとに、もっと掘り下げたい、興味ぶかいことが多く、じぶん自身も“いろんな発見”ができる紙面にしていきたいと思います。

次回からレイアウトをリニューアルし、よりフレッシュで楽しい内容をお届けしたいです。みなさん、ニュースに載せてもよい記事などがございましたら、ぜひドシドシお寄せください！

（枇榔）

発行

名古屋都市センター調査課 まちづくり支援班

<メンバー>宮島、田嶋、青山、後藤、枇榔

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号 金山南ビル 13階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp